

伊達博物館改築事業基本計画（案）に係る 説明会における質問及び回答について

1 概要

「伊達博物館改築事業基本計画（案）」は、令和元年7月に策定した「宇和島市立伊達博物館改築事業基本構想」で掲げた、宇和島が誇る歴史文化を安心して後世につなぎ、その魅力を市民はもとより国内外に発信するための施設として、新たな博物館を整備をすることを目的に、現時点における状況を踏まえた中で、計画としてまとめたものです。

この度、同計画を策定するにあたり、説明会を計7回実施いたしました。説明会の中でいただいた御質問や御意見等に対する当日の回答については次のとおりです。なお、いただいた御意見等につきましては、今後の取組に生かしてまいります。

2 開催日時と開催場所

11/17（火）	南予文化会館	13:30～	参加者 46 名
11/17（火）	南予文化会館	19:00～	参加者 20 名
11/18（水）	吉田公民館	19:00～	参加者 20 名
11/19（木）	三間公民館	19:00～	参加者 16 名
11/20（金）	岩松公民館	19:00～	参加者 20 名
11/22（日）	南予文化会館	13:30～	参加者 15 名
11/22（日）	南予文化会館	19:00～	参加者 15 名

第 1 回

11/17 (火) 南予文化会館 13:30～ 参加者 46 名

市民①	・ 今回の案であるが、ほぼ決定しているように思える。 ・ 「宇和島を自慢できるように」と言うが、教育を受けた子どもたちは、県外で就職するなどして宇和島から人がいなくなる。 ・ 町並みを大切にするとすると言うが、道端の柳やケヤキ、ポプラの枝を切っている。大切にしていけないように思う。 ・ 段々畑の観光では、段々畑を眺めるだけで去ってしまう。もっと工夫して観光対策するべきではないか。 ・ 文化財が大切なのは分かるが、宇和島にとって一番大切なのは宇和島が活性化することである。そのことにお金が使われていないように思う。お金を還元できるところにお金をかけるべきではないか。 ・ 天赦園は狭いので、天赦公園側に拡張してはどうか。 ・ 足が不自由な人のために城山にモノレールや展望台等を作り、一角を利用して博物館を作る案もよいのではないか。 ・ 城山を活性化させて商店街を連動させ、商店街からきさいや広場へ連動させて、連鎖させればよいのではないか。こういうところにお金を使ってもらいたい。
回答	特に回答せず、御意見として拝聴いたしました。
その他	

市民②	・ 先ほどの意見は大変共感するところがあった。市長に頭に入れていただき、実現していただきたい。 ・ 宇和島の人口が減っていることについて、活性化するには観光面で力を入れていただいたらよいかなと思う。 ・ その一つが博物館の建て替えであると理解しているが、同じような施設がほかにもある。3施設を一体的に面としてとらえ、公園に移設する等していただきたい。 ・ 博物館の建て替えも大事だが、点ではなく面で、宇和島の歴史的
-----	--

	資料館をまちづくりに活用する意見は今までなかったのか。
回答	資料館等の施設は市内に点在している。歴史を物語る上で博物館と調和していく必要がある。その拠点となるべく、博物館が城山と天赦園と調和しながらやっていくためには、これまでと変わらず近辺に建てるべきというのは、委員会の中でも立地の面で話があり、今回案としてお示しをした。この御意見は重要だと思っている。しっかり認識していきたいと考えている。(市長)
その他	

市民③	2015年の伊達400年祭の時に、寄付を募って桜を植えた。天赦園には25本あり、寄付した方から「桜がなくならないように」と連絡があった。その方々の気持ちをくんで、十分な話し合いをしてもらうようお願いしたい。
回答	桜については十分に認識している。最大限に配慮していく。(文化・スポーツ課課長)
その他	

市民④	・ 今回の建て替えについて、宇和島市が大きなビジョンを持って文化都市を形成し、大きな立ち位置に立って博物館の建設に取り組んでいただきたい。 ・ 宇和島市は年間 1000 人減少している。全国各地から宇和島の歴史文化を目指して人が集まってくれば、宇和島市の経済が底上げされる。そのことも含め、大きな見地に立って、将来の宇和島市をつくる町並み改革、総合的なまちづくりを、責任ある方々に協議していただきたい。
回答	特に回答せず、御意見として拝聴いたしました。
その他	

市民⑤	・先の大戦で戦災があり、残っているものが少ない。柳、お堀、レンガの建物があればいいのと思う。 ・仙台へ貸し出している資料が多いと知って大変驚いた。伊達文化保存会が何万点という実物を残しているということが非常にすばらしく、すごいことだと思う。 ・「調査研究を継続的に行い」とあるが、学芸員をしっかり育ててほしい。調査研究をするには、若い人に長年勤めてしっかり勉強してもらえるように、嘱託ではなく学芸員の待遇を改善してほしい。研究を積み上げ、宇和島の文化をよく調べて、みんなに伝えてほしいと思う。 ・旅行へ行って一番いいと思う町は、地元の人が自分の町に誇りを持って、幸せに住んでいる。そういう町はとても気持ちがよく、また訪れたいと思う。 ・宇和島市民より、城山の観光客の方が歴史をよく知っている。市民が知らなさすぎる。知らなければ郷土を誇りに思えない。市民が歴史をよく知っている、というのは、とてもいいことだと思う。 ・「学校教育における歴史文化の学習を積極的に支援し」とあるが、学校教育の時に、ここに行けば郷土の偉人について学べるという場所がほしい。 ・伊達以外のものも展示できるのであれば、博物館で郷土の偉人について学べればいいと思っている。それを基に誇りに思える場所になればいいと思う。 ・交流ゾーンについて、常設展示室は交流ゾーンに含まれているが、これでよいのか。博物館ゾーンではないのか。 ・設計者について知りたい。
回答	・いろいろな郷土学習ができるような方向で建設を進めていきたい。 ・交流ゾーンの常設展示について、総合ガイダンス的な宇和島市の紹介のイメージであり、貴重な物は博物館ゾーンで展示するつもりである。この常設展示については、交流部分で興味を持っていただき、博物館ゾーンへ行っていただく入り口と考えている。内容は展示する物によって変わっていくと考えている。(文化・スポーツ課課長) ・設計について、基本計画がまとまった後、設計の発注となり、その際に設計業者の設定が行われる。委員会の中でも、建物自体を魅力的にという意見が出てきている。ただの博物館ではなく、魅力的な建物としての博物館として設計していただける業者選定をしたいと考えている。(教育部長)
その他	

市民⑥	・現在の場所に建て替えるというのは、誰も考えなかったのか。 ・公園を狭めることには反対である。公園は海に近く、新たに調査も必要である。現在の場所に建てるなら、調査は不要である。 ・山家清兵衛展の蚊帳の展示はよかったが、おたまやさまの展示がなかった。油屋熊八さんが寄贈したことへの言及もなかった。学芸員の育成も含め、今後の経営を考えていただきたい。 ・宇和島の商店街が寂れている。文化財も大切だが、経済もしっかり考えてほしい。
回答	・立地については、決して天赦公園ありきという話ではない。具体的に公園と一体となった博物館を具現化できるというところが一番大きく、それに伴う費用のメリットがあると説明させていただいた。博物館が建つことによってなくなる児童公園部分は、現在の博物館を公園に作り替えることで、公園を狭くすることにはならないと考えている。(文化・スポーツ課課長)
その他	

市民⑦	・博物館は今のところに建て替えてほしい。 ・宇和島にはすてきな人がいっぱいいるのに、わからない。どうして先哲記念館等が宇和島にはないのか。 ・埋め立て地は地盤が軟弱であり、お金がかかる。どうして宇和島の埋め立て地に移動するのか。
回答	・近隣をボーリング調査結果をもとに、できだろうと判断した。海に近く、浸水区域であるので、しっかりと配慮しながらやっていきたい。(教育部長)
その他	

市民⑧	・ 40 億円つぎ込まれる事業ということで、宇和島市民を含めて熱のあるような進め方をしたらいい。 ・ 50 年後 100 年後の維持費が、人口減少していく市民の税金にのしかかってくるのではないかと心配している。 ・ 建設費に国がどれだけ出すのか、市がどれだけ出すのか、毎年の維持費に対して入館料はどうか。費用対効果について市の計算を教えてほしい。
回答	・ 現段階で維持費や税金の全体の具体的な試算ができていないわけではない。今日の段階では申し上げられないが、今後の設計中で維持管理費を意識し、配慮していきたい。（教育部長）
その他	

市民⑨	・ 新博物館の使命に、「宇和島の歴史と歴史の継承」とある。勉強会などの機会を設けていただいて、もっと地域や宇和島のすばらしいところを勉強していく必要があると思う。 ・ 子どもたちの教育にも、宇和島の生きた教材を生かしていただきたい。 ・ 観光事業整備をしながら、しっかりとした構造改革をして、将来希望の持てる宇和島を作っていただきたい。
回答	特に回答せず、御意見として拝聴いたしました。
その他	

市民⑩	・今までの展示室の面積と、新博物館の常設展示室と企画展示室の合計面積が同じだが、企画展示が減ってしまうのか。 ・企画力のある魅力的な展示物であれば、遠くからでもお客様がいらっしゃってくれる。企画力をしっかりしていただきたい。 ・学芸員は今何人くらいいて、これからどのように育てていかれるのか。
回答	・博物館の魅力であり、一番重要なのは企画展示であると認識している。 ・今現在の学芸員は、正職員 1 人、会計年度職員 2 人である。学芸員の増員、人材の確保は充実していこうと考えている。 ・展示室の広さについては、現在の博物館は展示スペースとしてロスが多く、動線的に合理的でない部分がある。これらを合理的に配置すれば、今よりも展示数を増やせて、より見やすく工夫できる。 ・資料を休ませたり、出す期間が決まっているため、考慮しながらの企画展示になる。企画を盛り上げるよう努めていきたい。(文化・スポーツ課課長)
その他	

市民⑪	・今日の話は、ある程度進行している状態である。この計画は決まっているのか、案なのか。
回答	・案ということで示している。一から議論するのは難しく、建替委員会等である程度の形をつくり、こうして説明するという形にさせていただいた。 ・企画力を含めた魅力ある展示にしてほしい、子どもたちにしっかり歴史を学ぶ展示をしてほしい等、様々な御意見をいただいているので、回数を重ねながら補完していく。(市長)
その他	

第 2 回

11/17 (火) 南予文化会館 19:00～ 参加者 20 名

市民①	・ 展示施設が狭い。2～3 倍あるといい。 ・ 宇和島の偉人を紹介するなら、ちゃんとしたものを造ってもらいたい。 ・ 日本有数の建物を造ってもらいたい。
回答	・ 新しい展示室については、様々な工夫を凝らして、展示するものを増やし、合理的な動線を作りたいと考えている。現在の展示室と比べても多くの展示ができる、という計画をしていることで御理解いただきたい。(文化・スポーツ課長)
その他	

市民②	・ 以前にパブリックコメントで、伊達博を公園へ移した方がいいと進言した。 ・ 全国の人に見てもらいたいので、広い施設が必要である。 ・ 耐震、水害への対策をしっかりとしてほしい。 ・ 交流の場として喫茶店、和室、物産品販売所の設置を提案する。
回答	・ 今日の基本計画案ということで、これからより具体的に検討していくことになる。立派な博物館を作るよう激励をいただいているので、しっかりと検討していきたい。(教育部長)
その他	

市民③	・子どもたちの声は、博物館内に聞こえないか。防音対策を考えているか。 ・伊達宗城公の銅像は、今のところに建てるのか。
回答	・伊達宗城公の像は、場合によっては新博物館の隣地に移転することも検討するが、現状のままと考えている。(文化・スポーツ課長)
その他	

市民④	・会見の松の車道について、通行止めにした方が良くと思う。
回答	・現段階での予定では、生活道路という観点から通行止めにはしないつもりである。信号、標識等々でしっかり交通安全には努めたいと考えている。(教育部長)
その他	

市民⑤	・スケジュール的に、現博物館がいつまで営業し、いつ休止するのか。
回答	・令和 6 年度、7 年度に搬入、準備等を計画しているので、そのあたりが現博物館の営業終了、閉館時点と考えているが、いつまでとはいえないところである。その間の展示についての予定は考えていない。(文化・スポーツ課長)
その他	

市民⑥	・建物のデザインについて、全体的な企画を検討する必要がある。 ・大竹伸朗さんの発想やアイデアを取り入れ、宇和島は大竹伸朗さんのモニュメントがいっぱいあるというような方向性を模索していけばよいと思う。
回答	・有名な建築家やアーティストによる設計の建物は、大変魅力的なものになるとは思っている。この博物館の設計については、基本計画案の次のステップとして設計を発注することになるが、著名な先生、あるいは縁のある方をお願いすることも検討材料と考えているが、予算の都合もあるため、本日いただいた御意見については、しっかりと取り入れて計画に反映していきたい。(教育部長)
その他	

第3回

11/18 (水) 吉田公民館 19:00～ 参加者 20 名

市民①	・ 建物のイメージが出ていないが、和風になるのか、今の博物館のような形になるのか。和風の建物にしてもらいたいと思う。 ・ 宇和島十萬石だけでなく、吉田伊達三萬石の文化財についても入れていただきたい。 ・ 吉田藩の歴代のお墓がある大乘寺が、一昨年の西日本豪雨で災害を受け、修復工事をしているが、いろいろなものがでてきている。それを含めて入れていただきたい。
回答	・ 建物のイメージについて、これから設計、工事発注していく。具体的なところは今後設計に反映していく。今の段階でお示しをできる状況になく、これから検討していき、できあがったら折をみてお示ししたい。 ・ 和風が良いというお言葉もあった。御期待にそえるかわからないが、最適なものを考えていきたい。 ・ 宇和島伊達家だけでなく、吉田伊達家の三萬石の文化、歴史というものも十分に反映をしていく。吉田だけでなく、三間、津島にもすばらしい文化、歴史がある。旧宇和島市の文化だけを継承するものではない施設としてしっかりと検討していきたい。(教育部長)
その他	

第4回

11/19 (木) 三間公民館 19:00～ 参加者 16 名

市民①	・ 現博物館と天赦公園の間の道路について、どう活用されるのかをお聞かせ願いたい。
回答	・ 周辺道路の活用について、現博物館と公園、グラウンドの間の所は、現段階では車両が入らないようにする等、新たな使い道をしようという案はない。現状と同様の形になると考えている。 ・ 南側の生活道路についても現段階の案としては、現状と同様に車両も通るということになると考えている。(教育部長)
その他	

市民②	・ 津波の想定が 5m となっているが、5m で十分といえるのか。津波の先々の不安というのはどうなのか。
回答	・ 津波の想定高 5m に対する不安について、当然津波対策、地震対策も必要であろうと考えている。津波対策として 5m 以上の海高を確保するところに大切な資料を展示または保管したいと考えている。現在の想定の中ではクリアできるのではないかと考えている。(教育部長)
その他	

市民③	・新展示場について、どういう形の設計になるのか。設計は後ですか、ある程度決めてするのか。 ・宇和島の歴史という形で捉えると、宇和島の中では小早川隆景が一番最初に来る。その歴史が今のところあまりない。今後もっていくようになるのか。
回答	・現博物館の構造はかなり複雑で展示スペースも限られるため、新しい展示場は平坦にするイメージを持っている。今よりも数多くの展示品を見せられ、合理的な動線で見えていただけるというイメージを持っていたらと思う。 ・いつからか等の限定はなかなか出来ないが、新しい発見や研究等について、博物館ゾーンで貴重な本物が見られる、それ以外のところで宇和島の紹介ができるといったように、展示替えをしたり見せ方を変えたりしながら、いろいろな形で見せたいと考えている。(文化・スポーツ課長)
その他	

市民④	・宇和島は元々海だったと思うのだが、元々海だったところになるのか。 ・新しく博物館が建つ場所の地質調査を行う予定か。
回答	・改めて地質調査は行う。城南中学であったり、その近辺の地質調査の結果を持っているので、それほど特別弱い等の問題はないのではないかと予想できるが、調査については当然していこうと思っている。(文化・スポーツ課長)
その他	

市民⑤	・ 駐車場のスペースについて、どのようなお考えか。
回答	・ 基本的には御高齢の方、足の思うようにならない方等、不自由なく御利用いただけるように、近隣に十分な駐車場を確保したい。 ・ 現博物館の駐車場は、予定ではほぼ同じ形で残す形にしている。比較のお若い方等は、天気の良い日はそこに車を置いて、ゆっくり散歩しながら博物館にアプローチしていただくという楽しみ方もできる。大きく二カ所に構えていく見通しを持っている。(教育部長)
その他	

第 5 回

11/20 (金) 岩松公民館 19:00～ 参加者 20 名

市民①	・天赦園、天赦公園、現在の博物館の土地所有者は誰か。 ・入館者、入館料、維持管理運営はどうなっているか。 ・維持管理費を公開し、見合った効果があるか検討してほしい。 ・都市計画では、川の上の建物を撤去等を行っているようだが、廃校のコミュニティバスの活用や防災など、ほかにすべきことがあるのではないか。 ・博物館は多額の建設費をかけて作るべきものか。 ・仙台市の文化財は、すべて市に寄贈されている。宇和島は所有者から借りているという形である。借用料は 4000 万から 5000 万円に含まれるか。 ・建て替える時、資料を預けるのに 1 億円かかると聞いた。借りているならば、伊達さんに返すべきではないか。
回答	・天赦園は伊達家所有。天赦公園は一部伊達家所有で、ほぼ市有地であり、現在博物館が建っている土地は市のものである。 ・維持管理費は年間 4000 万から 5000 万円である。 ・入館者は年間 1 万 5000 人ほどで、入場収入は 500 万から 600 万円である。 ・1 億円は現在地に立て替える場合の資料の移動費であって、現在の計画では必要ない数字である。 ・貴重な資料を市が預かり、保存、修復していくのが大きなテーマであり、その継承に必要な費用は市で解決していかなければならないと思う。(文化・スポーツ課長) ・博物館の建て替えについて、現在は災害等大変な状況であるが、文化財を守ることは重要である。建物の状態を鑑みて、しかるべき時期が来ている。 ・建て替え費用について、国の補助等を活用できるよう市が工夫し、4 億から 5 億円くらいの持ち出しになると考えている。(市長) (※注 国庫補助や起債等を活用した場合の市単独費の概算を回答しております。) ・ただ借りているわけではなく、文化財の修理も含まれる。費用は維持管理費に含まれる。(文化・スポーツ課長)
その他	

市民②	・天赦公園は埋め立て地であり、排水について疑問がある。建物の立地に適しているのか。 ・国道端の駐車場について、出入りの際に危険はないのか。
回答	・排水、浸水については吟味すべき問題である。 ・地盤は強固ではないが、近隣の建物を建てる際、周辺の調査を行っている。ある程度のデータは手元にあるので、浸水対策や耐震を含めて検討したい。 ・駐車場について、基本設計から計画設計の段階で決定される。今はまだ細かい決定はされていないので、安全を考慮しながら検討したい。(教育部長)
その他	

市民③	・やすらぎの里は豪雨災害時に吉田・三間の被災者に支援を行った。現在やすらぎの里は休止状態であり、防災拠点として機能できない。人の命を守る防災拠点の修復が先ではないのか。優先順位をつけてほしい。
回答	・やすらぎの里については、建物自体の老朽化や地盤沈下等の不具合があり、修理しながら経営を続けていたが、資金面や安全を確保することが難しくなったため休止している。新しい施設にスライドさせるための計画を、もっと早く行うべきであったと思う。今はきちんとしたものを提供できない、厳しい状況であるということを、御理解いただきたい。(市長)
その他	

第6回

11/22 (日) 南予文化会館 13:30～ 参加者 15 名

市民①	・基本方針の「4 教育普及」について、新しいことが具体的にあるのか。 ・基本方針の「6 建設手法とコスト意識」について、ランニングコスト等、こうした施設はコストがかかることが問題になっている。省エネや運営方法など、具体的に御教示いただきたい。
回答	・子どもたちへの学習の取り組みについて、今は出前授業等を行っている。施設が狭いので、学校のカリキュラムに入れて、来ていただいて、新たな展開もできると考えている。建物のしつらえ、部屋等を考える中で、強く意識をしながらやっていきたい。 ・ランニングコストについて、省エネルギーや地域のものを使いながらということはあるが、今後検討していきたい。(文化・スポーツ課長)
その他	

市民②	・新しい博物館に茶室を作ってほしい。
市の回答	・和室や畳の部屋を作り、お茶を点てるということも、一つのアイデアとして検討していきたい。(文化・スポーツ課長)
その他	

市民③	・ランニングコストについて、ふるさと納税を使うことはできないか。 ・新しい博物館では、宇和島伊達家以前の展示をやってもらいたい。
回答	・新しい博物館には、伊達家だけではなく旧三町の歴史や文化も、現地へ行ってもらうためのガイダンス機能として持たせ、また企画展示室の有料部分に誘導するための元々の歴史も展示するべきだろうと考える。しかし学芸員が今後の調査、研究を進めないと展示できない。学芸員の充実も必要になってくると思うので、そのあたりも含めて考えていきたい。 ・ふるさと納税については、検討していく。(文化・スポーツ課長)
その他	

市民④	・防災面で、津波の際に発生した漂流物に対して、所蔵品や職員、お客様を守る防護は考えられると思う。 ・災害時の避難行動まで考えていかないといけないと思う。 ・収蔵物について、管理が大変で、長期のライフラインが途絶えた時に備えて、非常電源等の整備をしなければならないが、その辺を考慮しているか。
回答	・建て替える場所は浸水地域であり、これからどこまでしっかりやっていくか検討していく。 ・漂流物については、専門家の知見を含めてあるのだと思う。大いに意識しておきたいと思う。 ・避難計画について、一つの建物の高いところへ上るのではなく、あちこちに避難所を設け、より高く、より早く避難するように訓練することとしている。(教育部長)
その他	

市民⑤	・現在の場所に建て替えてほしい。
回答	・建て替えに関する様々な協議の中で、委員会の総意として、天赦公園に建てる方がメリットがあるということになり、今回の基本計画の案となった。協議を重ねての結論であり、変えることは難しいと考える。 ・皆様に使いやすいように、活用の仕方を考えながら、町の中に緑を残していくことは間違いないので、御理解いただきたいと思う。(市長)
その他	

市民⑥	・建て替えには反対である。
回答	・まず、この地域でどのように暮らしていくことができるか、手立てをしていかなければならない。また人口が減っている中で、次の担い手を作っていくことも課題である。 ・博物館というものは、町のこれまでの歴史を知り、自分たちが地域の担い手であると思えるような施設の一つであり、宇和島城と同じ、この場所に来ないと見られないオンリーワンであると認識している。 ・ランニングコスト等、いろいろな心配をされているが、より多くの人々に来ていただけるよう、皆様の配慮等を入れながら考えて、計画している。(市長)
その他	

11/22（日） 南予文化会館 19:00～ 参加者 15 名

市民①	・ 資料の移動について、博物館の建設業者が合わせて対応するのか、それとも専門の引越業者に頼むのか。 ・ 旧三町の資料を含めていく、ということだが、どれほどの学芸員数で対応していくのか。
回答 1	・ 資料の移動については、重要文化財等もあるので、専門業者への委託になる。（文化・スポーツ課長）
回答 2	・ 学芸員数については、現段階で確定的に申し上げられるものではないが、希望を含めて補充していきたい。（教育部長）
その他	

市民②	・新博物館の収支について、入館料だけではおそらく賄えない。収支のバランスをどうやっていくのか、市の予算からどれくらい出るのか。 ・学校教育との連携というのは非常に大事なのだと思うている。 ・博物館の大事な役割の一つとして、「資料の収集、保存、学術研究」とあるが、現状の伊達博物館で学術研究への資料提供であったり、大学の研究者たちとどのくらい関わっているのか。新しく建て替わった時に増やす資料について、学術的な貢献を高められるような見込みがあるかどうか。 ・要望として、学芸員数もとても大事だと思っている。ほかの施設では学芸員が1人しかおらず、資料の管理、企画等、とても研究する暇がないということがある。人件費もかかると思うが、十分な数を確保できるような計画ができるといいと考えている。
回答	・建設費そのものが概算でしかなく、設計もこれからというところで、初期投資費用について、はっきりしたところを現在把握していない。したがって今後の収支を全体的にどう見ていくかというところについても、明確にお答えできる資料を持っていない。当然のことながら公金を使うので、収支バランスについては嚴重な問題であると我々も認識している。財政状況等々しっかり見極めながら、収支バランスには気を配っていきたいと考えている。(教育部長)
	・今、宇和島では持続可能な地域の担うような担い手を作っていくということに取り組んでいる。まずは自分が生まれ育った地域を自分事と認め、その上で地域の課題や可能性を、地域の人材を活用して、体験的に学んでいる。 ・この4月から市内の全小中学校がコミュニティスクールとなり地域学校協働活動を行えるよう、地域コーディネーターを配置している。新しい博物館には、今はないセミナー室的なものを作りたいと考えている。カリキュラム、メニューについては現段階で具体的なものを持っているわけではないが、地域と人材を活用して、地域と直接関わりながら学んでいくというものを、開館までには具体していきたい。(教育長)
	・博物館と大学等の連携について、主に愛媛大学の資料関係の先生方とのつながりを持っていて、古文書等の研究には十分に連携をさせていただいている。西予市にある県歴史文化博物館の学芸員の方とも連携を図っており、これが新しくなっても基本になると思っている。それ以外にも仙台市立博物館等、そういった連携はこれまで以上に進めていく必要がある。

	・地域の歴史文化について、伊達家の資料は研究が進んでいるが、それ以外の歴史研究はまだまだ進んでいない。そういったものを展示、研究発表するためには、大学等々とも連携していかなければなかなかできないと考えている。 ・学芸員を増やしてほしいという要望について、他の分野が広くなれば、専門の学芸員も必要になろうかと思うので、その点については努力していく。(文化・スポーツ課長)
その他	

市民③	・ 全体の話の前に、学芸員に要望を聞いて、働きやすいとか将来どうなるか、10年20年後の建物としてどうしたいか、委員会等で話し合ってほしい。 ・ 伊達博物館は宇和島の観光の起爆剤のようなものになって、どんどん人が来るというようなものが、この計画書では見えてこないし、出てこない。 ・ 宇和島出身の全国に散らばっている方に、どういうものだったらいいか、意見を聞いてほしい。コストは出てくるかもしれないが、そうしないと宇和島の起爆剤にはならない。
回答	・ 学芸員の要望を聞いているのかという点について、専門部会の部員として学芸員も入っている。今後の設計の段階で意見をくみ上げて反映させていこうと考えている。 ・ 観光交流拠点の件について、全体の現地へ行くためのガイダンス機能であったり、そういったことを担わせて、デザイン性に優れたもの、建物だけでも見に来ていただけるようなものになるよう努力するということで、建替委員会の中では確認をしている。(文化・スポーツ課長) ・ 宇和島出身の有識者の思いを拾って、ということであるが、実際に今、インターネット上のホームページを通じて意見をいただく段階である。宇和島出身でこの手の有識者という方がどなたなのか、十分に理解、把握できない。その点については、いただいた御意見として、しっかり考えていきたいと思っている。(教育部長)
その他	

市民④	・娘たちが年に3、4回伊達博物館のイベントに参加させてもらっている。長女は将来、伊達博物館の学芸員になりたいと言っているので、今日は参加させていただいた。 ・伊達博物館は、宇和島ブランド、伊達ブランドを全国に発信できるすばらしい施設だと思っている。この施設を魅力のある施設にリニューアルすることは、今後人口減少が進んでいく中で宇和島にとって必要で、多少お金がかかっても建てるべきだと思っている。 ・施設の配置について、今の位置に建て替えるよりは、レイアウトのように動かして、緑の広場から宇和島城を眺めながら、という方が動線的にもよいということで、この案がいいと思う。 ・伊達博物館の方でダテマスター等のイベントを今後に残していただいて、子どもたちが伊達文化に触れる行事を続けてもらいたいと思っている。 ・学校付近に建っているので、常設展示に限らず、企画展も中高生に対しては一回ぐらいは無料で入るようにしていただきたい。伊達文化に触れて、自分は宇和島人であると認識していくような人間になるもの考える。
回答	・今後新しい伊達博物館ができたなら、伊達文化、宇和島ブランドというものを発信できるように充実していきたいという夢を持っている。 ・また文教地区であることの夢として、宇和島の子どもたちに興味を持っていただき、より触れていただいて、伊達博物館というものが小中高校生の交流の場にしていける努力をしていきたいと思っている。(教育部長)
その他	

市民⑤	・子どもたちに、これから国宝級のものを展示して見せてあげる、そういう展示をしていただけるなら、お金がかかろうとよいと思う。 ・イベント広場、芝生のところで、人との交流やイベントができるのか。 ・公共施設に対して後の運営に不安があり、負の遺産を今からどうしていくのか、という疑問がある。建てただけではなくて、運営がちゃんと出来る、そういう運営を考えながらの施設づくりが大事だと思う。 ・宇和島市の子どもたちのためにも、すばらしいものを造っていただいて、その後の運営がちゃんと赤字にならないように、行政の方でしっかりと運営いただきたい。 ・説明会の参加者は、他の会場にはどれくらい来ているのか。
回答	・来ていただいている人数については40人、50人ほどで、非常に熱心に聞いていただき、建設的な意見もいただいたと思っている。 ・広場のところでイベントをしてもいいかということについては、いい。博物館のみならず情報発信できる場所として、伊達文化エリアが相乗効果を持って天赦園を含めて発信できる場所になっていったらいいと思う。建てた後の工夫で、にぎやかな場所になるよう、やっていきたいと考えている。(文化・スポーツ課長)
その他	

市民⑥	・ 公共施設を建てる時に、例えば市民に寄付を募って、寄付した人の名前を入れることで、意気込みや当事者意識を喚起する等、そのような例もあると思う。そういうことは想定されているか。 ・ 地場産業というか、宇和島の歴史を含んだ会社もあると思うが、そのような伝手を頼っていない企業連携等を考えているのか。
回答	・ 市民からの御寄付を含めた当事者意識を高めることについて、現段階で市民から寄付をお願いするという予定はないが、今後の課題とさせていただく。(教育部長) ・ 今日の説明会に出た意見で、ふるさと納税という価値観でやってみてはどうか、そのバックは入館を一年間無料にする等の案をいただいた。こういう御意見をお聞きしながら計画等を直していく、と私は考えている。しっかり検討していきたい。(市長) ・ 企業連携について、確かにそういったつながりをたどりながらというのは、一つのアイデアとしてすばらしいと思う。 ・ 今回に限らず、市民のみなさんの興味がある内容、考えられている意見が出されている。 ・ この説明会も意見を精査して、できうることをしっかり検討していく、そうした貴重な場になっている。十分な答えにはなっていないが、そうした気持ちで挑んでいきたいと思う。(教育部長)
その他	

市民⑦	・ 7 回の説明会において、どういう質疑応答があったかは、今後 HP や広報等で公開されるか。いつになるか、何月号の広報か。
回答	・ パブリックコメントに関しては、丁寧に説明をさせていただくということだが、代表的な意見には答えたいと思っている。もちろん建替委員会で、フィードバックしながら委員会の方に伝えていくが、御意見のすべてをホームページに載せる等、そういったことは難しいことであろうと思う。(文化・スポーツ課長)
その他	

市民⑧	・ 三浦半島の段畑の歴史というのは素晴らしく、生活に密着した伊達家以外の展示を多くしてもらいたいと思う。
回答	・ もちろん調査研究を進めていかないと、展示等も中途半端ではできないということもある。どれをどのように展示するというのは、今後の検討課題であり、それぞれの地域の歴史文化を大切に育てて伝えていくことに変わりない。調査研究から進めていって、展示ができて、皆様にお知らせできるような努力をしていきたい。(文化・スポーツ課長)
その他	